

健康診断オプション検査一覧表

2021. 12. 13改訂

検査項目	検査の目的	料金(税別)	
ペプシノゲン I、II	胃がんの前がん段階といわれている萎縮性胃炎をチェックします。	¥2,040	
ヘリコバクター ピロリ菌抗体	胃がんの原因とされているヘリコバクターピロリ菌の存在を調べます。	¥1,840	
胃がんリスク検診 (ABC検診)	胃がんの原因とされるピロリ菌の感染とピロリ菌感染によっておこる萎縮性胃炎をペプシノゲンで調べることによって、胃がんのかかりやすさをA～D群に分類する検査です。胃がんそのものを見つける検査ではなく、胃がんのリスクを評価する検査です。バリウムアレルギーがある方やバリウムが苦手な方にお勧めです。	¥4,080	
尿酸代謝検査 (UA)	尿酸代謝機能が低下して、尿酸濃度が高まっていないかを調べます。	¥210	
腎機能検査 (クレアチニン・eGFR)	腎臓の機能障害を調べます。	¥380	
心不全リスク検診 (NT-proBNP)	心臓から分泌されるホルモンで、心臓に負荷がかかると増加します。心電図と併用することで、軽症・無症候性の心不全や狭心症の検出に有用です。	¥3,060	
血液による腫瘍マーカー検査	注意	多くの腫瘍マーカーは、 早期がんで反応を示すことは少なく、またがん以外の良性的疾患でも反応を示すことがあります。よって、健康な方ががんの不安を抱えることもあり得ます。 さらには、PSA以外の腫瘍マーカーは、臓器特異性が低く、例えばCA125が陽性であっても、女性特有の臓器のがんとは限りません。病院等では、腫瘍マーカーをがんを診断する際の材料の一部として利用しますが、 予防に重点をおく健康診断での利用の際は、これらの腫瘍マーカーが持つ大きな問題点を理解したうえでご受検ください。	
	CEA	胃がん、大腸がん、肺がん他、広範囲に反応を示す腫瘍マーカーですが、陽性を示すのは進行がんが多く、早期がん発見には適さないと言われております。	¥1,740
	CA125 (女性のみ)	主に卵巣がん、子宮がんに反応を示しますが、妊娠初期や月経時・閉経時にも高値を示すことがあります。また他のがん(乳がん、肝臓がん等)や卵巣腫瘍、子宮筋腫でも高値を示す場合があります。	¥2,450
	PSA (男性のみ)	前立腺がんや前立腺肥大症などで高値を示します。	¥1,430
	AFP	主に肝臓がんで高値を示しますが、肝臓がんであってもAFPが陽性にならないこともあります。また、慢性肝炎や妊娠時にも高値を示す場合があります。	¥2,040
	CA19-9	膵臓がん、胆道がんで高値を示す他、胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、卵巣がんなどでも高値を示します。	¥2,040
	SCC	扁平上皮がんに対して陽性を示す率が高いです。子宮がん(頸部扁平上皮がん)、肺がん、食道がん、子宮筋腫などで高値を示します。	¥1,740
CA15-3	乳がんのスクリーニング検査に用いられていますが、初期の乳がんではほとんど陽性を示しません。他に卵巣がん、肺がん、前立腺がん、がん以外の子宮内膜症、骨盤炎症性疾患、肝炎でも高値を示します。	¥2,650	
肝炎検査	HCV抗体	C型肝炎ウイルスに感染していないかを調べます。	¥2,050
	HBs抗原	B型肝炎ウイルスに感染していないかを調べます。	¥600
	HBs抗体	B型肝炎ウイルスに対する免疫力があるか否かを調べます。	¥750
	肝炎セット	HBs抗原、HCV抗体	¥2,550
便潜血検査 (2回法)	(検査回数を増やすことで病変の発見の精度が高まります)	¥1,530	

※「便中ヘモグロビン」は、予め専用容器に採取していただいた便での検査となります。

それ以外の検査につきましては、健康診断当日に採血した血液にて検査いたします。